

【参考資料】 沖縄美ら島財団の火災後の取組等

沖縄美ら島財団の火災後の取組等

○首里城火災を踏まえた管理体制・防災対策会議の設置

火災後、当財団では、二度とこのようなことが起きないように財団内に「首里城火災を踏まえた管理体制・防災対策会議」を設置し、再発防止に取り組んできました。

具体的には、首里城火災にかかる事実関係を整理、検証し、管理体制や未然の防止策、初期消火等について課題を抽出し文化庁防火対策ガイドラインや消防庁防火訓練マニュアルも参考にしながら再発防止策を検討し実施してきているところです。

○防火対策の強化（消防計画、各種マニュアルの改定・策定）

首里城火災を踏まえ、防火管理体制、予防管理対策、自衛消防隊活動、防火教育及び訓練、消防との連携、美術工芸品の取り扱い、近隣住民との連携について防火対策の強化策を取りまとめ、「消防計画」、「各種マニュアル」などを改定・策定して実施しています。

○組織体制の強化

財団総務部に防災危機管理室を設置し、防災危機管理会議を開催し財団管理施設全体の防災強化を図っています。

また首里城公園管理部は、2課体制から3課体制とし、地域との連携強化、復興に向けた取り組みを強化しています。

○自衛消防隊の体制強化・技術向上（訓練等）

更に、夜勤者のみで実施する消防訓練や昼間体制での消防訓練、屋外消火栓等の消防設備取り扱い訓練を毎月実施するとともに、財団職員や協力会社が協働で夜間自衛消防隊の体制強化のため夜間現場に入り助言や指導を実施しています。

今後も、首里城復興に向け工事等が進み、変化する公園の状況に合わせた防火対策が求められることから、随時必要な追加・見直し等を行うことでさらなる防火対策に努め、首里城公園の適切な管理に努めます。